

起因物、事故の型：建築物、構築物 - 墜落・転落の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	11～12	1階地中梁コンクリートの上で、ピット内の角材をロープで引き上げ作業をするとき、親綱の準備中につまずき、反対側のピットの下にうしろ向きに転落し、その際に尻を打ち、左手をついたため左手首を骨折した。	66	30201	1～9
1	23～24	貨物の積込作業中、高床ホームから手をついて下に降りようとしたとき、足が滑って落下した。	59	40301	30～49
1	13～14	かくはん機のメンテナンスを行う為、グリスとグリスガンを手を持ち、脚立で側壁棧に上がり、棧づたいに移動中にバランスを崩し約2mの高さから墜落した。ヘルメットは着用していたが、安全帯はしていなかった。	41	70101	30～49
1	8～9	作業員が作業場所を確認して物を取りに移動する時、斜面を横に歩き、コンクリート斜面の一部（左上右下）に水が凍っているところがあり、右足を滑らせ左足に体重がかかり、左側をひねり、左足脛骨を折ってしまった。	60	30109	—
1	16～17	支店の倉庫で上段のパレットにのっている飲料の入った段ボールを取り、降りる際に転倒、右肘骨折し、右肘靭帯異常からの手首の腫れが生じた。高さ1m位の所から足を踏み外した形である。	24	80209	10～29
1	11～12	引っ越しのお客様宅にて、洗濯機の梱包中に、排水ホースをテープで固定する為テープを引きながら一步下がった時、床下収納の蓋が開いていた為右足から落ち、つま先を強打した。痛みがあったがそのまま作業を続けたところ、痛みが引かず、後日に右足第2趾脱臼骨折および左足関節捻挫と診断された。	51	50101	30～49

1	12～ 13	店舗敷地内駐輪場併設の植え込み（高さ185cm、幅135cm）のゴミ・雑草等除去作業中、駐輪場床面（コンクリート）に落下した。	78	80209	100 ～ 299
1	10～ 11	納品先倉庫内にて、被災者、リフトマン、共同作業員（3名）の5名で荷降ろし作業を開始。リフトマンがパレット積みされた製品をフォークリフトで倉庫2階（高さ約3m）へ持ち上げ、被災者はパレットから製品を一旦2階フロアに降ろす作業を行い、共同作業員3名、リフトマン（最後のパレットだった為、2階で作業を手伝う）の4名でそれを納品場所に積み込む作業を行っていた。パレット上の製品を半分ほど積み替えたところで、共同作業員が物音に気付き、1階部分を覗き込んだところ、被災者がフォークリフト横に墜落していた。	32	10602	100 ～ 299
1	5～6	道路にて、退職者との業務引継中、トラック後部に向かう際、仕事の事を考えながら歩行中、道路脇の用水路に誤って右足を踏み外し落下し、用水路の土手に胸を打ちつけてしまった。	40	11703	100 ～ 299
1	8～9	配達の際、駐車場の溝に右足が挟まり、付け根と小指を骨折した。	33	40301	30～ 49
1	10～ 11	各槽間のシート交換作業時に槽上の端に足を掛け、槽の反対側からシートを受け取り戻ろうとした時につまずき、槽蓋（塩ビ）に乗り落下してしまった。	24	30302	—
1	12～ 13	午前中の業務が終了し、休憩時間中、当社の従業員と思われる男性が、立体駐車場Gの下で倒れているとの電話連絡を受けた。連絡を受けて現場に駆けつけたところ、当該社員が倒れており、駐車場より転落したとの報告を受けた。	20	40103	100 ～ 299
1	7～8	出勤し、生コンを積み込む為運転手控室で待機中、自販機でコーヒーを買う為、運転手控室から食堂へ出向いた。缶コーヒーを手に持ち、三人の乗務員の最後尾で食堂を出たが急いでいたため、ドアを閉めずに開けたまま回り込んで通路へ出ようとした。通過するには狭く、右手に缶コーヒーを持っていたので、体のバランスをくずし、高さ94cmの通路よ	49	40301	—

		り転落し、頭と手足を打ち負傷した。			
1	11~ 12	新築戸建て住宅の建築工事現場にて、2階にて壁用板材を丸のこぎりで切断し、その部材を運ぼうと後ろ向きに歩いた際、床面にユニットバス用の開口があったが、進行方向や状況を確認しなかった為、誤って開口部に足を踏み入れてしまい、2階から1階ガレージ部に転落し、頭部及び左半身を地面で強打した。	21	30201	—
1	13~ 14	管轄の現場において、食事提供が落ち着いた為、厨房内の排水溝（約60センチ×60センチ（中にあるゴミを取る網までの深さ約30センチ））の蓋を開け清掃をしていたところ、お客様が来られた為、蓋は開けたまま対応し、食事を提供しようとした際に誤って排水溝に足がはまってしまい、左ひざを負傷した。	68	150101	30~ 49
1	13~ 14	工事の現場で、側溝用コンクリート製品をエンジンカッターで切断中、体位を変更した際に切断片に足を置いたため、コンクリート片の崩壊が発生し、高さ1mからバランスを崩し転落した。転落時に左足首がコンクリート製品に挟まり横に転倒、左足首を捻挫・骨折した。	28	30106	1~9
1	16~ 17	現場の提体水通し部で出来形測量中にバランスを崩し、高さ3.5m~4.0mの溪床部に落下した際に、首を強打した。	42	30108	1~9
1	9~ 10	法面上での作業中、ロープと安全帯を付けて草刈り作業をしていたが、道具を取りに行く時に法面下の水平コンクリートの上を歩いて戻る時に、安全帯をはずして歩いた時に足を踏みはずして下に落ちた。	45	30201	—
1	12~ 13	店舗塗装工事現場に於いて、木製格子と脚立に足を掛けて塗装作業中に、格子を留めているビスが取れて高さ1mから転落し負傷した。	35	30209	—
1	8~9	清掃中、デッキから2m下のエンジン場に落ち、右足首にひびが入り、脇腹を打撲した。	67	11501	1~9
1	15~ 16	地下機械室内に於いて、受水槽（高さ2M）点検終了後、受水槽タラップ（梯子）を降りようとした際、右手に点検表を持っていた為、左手で梯子を掴んでいた状態で足を滑らせ転落（高さ2M）し、床（コンクリー	58	170209	—

		ト) に左後部肋骨部を強打し骨折した。			
1	3~4	牛乳配達中、車を降りて徒歩で移動中に誤って排水路に転落し、左肋骨多発骨折を負った。	71	80209	10~ 29
1	10~ 11	新築工事2階の外窓を清掃中、足を滑らせて落下し骨折した。ヘルメットは着用していたが、打った場所がヘルメットで保護されていなかった。転落防止用の装備を着用してなかった為、足をすべらせた時に地面に転落してしまった。	34	150101	30~ 49
2	12~13	工場内洗い場においてパート2名が作業、1名が排水溝の清掃を行っていた。もう1名は排水溝が開放しているのを聞き取り確認はしていたが別作業中に自分が持っていた用具で視界が悪く誤って転落した。(排水溝深さ70cm) (面積50cm×50cm)	67	10109	50~ 99
2	17~18	トラック(2t車)で配送先へ積荷を降ろし会社へ戻り、車輛を車庫に入れ運転台(高さ約1m)から降りた際、転倒してしまい左足を路面に強打し、負傷したものである。	57	40301	30~ 49
2	19~20	荷物を持ちながら配達先へ向かう途中、道路から用水路に転落し、負傷したものである。(現場は暗く、歩道と勘違いしてしまった。)	48	40301	10~ 29
2	15~16	当社店内のプラットホームより荷物(仏具)をトラックへの積み込み作業中誤って落下し、その際、左足中指を骨折してしまった。	40	80102	1~9
2	16~17	住宅外壁塗装工事において、2階の外壁の塗装中、塗装道具を持ち込む際に2階部分の手摺を掴んだところ、突然手摺が外れ、そのまま落下した。落ちた際の衝撃で左足大腿骨を骨折した。	19	30202	—
2	15~16	練習場内、機械室横の送水ピットにて送水作業中、足場の悪い場所のため足を踏み外し、送水ピットに転落した。その際に上唇を切傷し、前歯を損傷し、股間を打撲する。送水ピットは地面に埋め込まれている。その上を溝が(ステンレス製30~40cm幅ボールを水で流しながら集球)通っている。	64	140309	1~9
2	2~3	屋上設備機器置場にて既存室外機容量確認を行った後、設備架台から下	45	170101	10~

		りる際、足を滑らせ転落した。			29
2	9~10	原卵受入口のプラットホームで上のコンテナ搬送ベルトを見上げていたところ、下に注意が行かず90cm程度の高さから地面に飛び降りた。当初はくじいた程度と考え掛かりつけの整骨院に行ったが診断がつかないため病院に行くように指示され、通院したところ足の骨折であった。当日は晴れ、気温はプラスであった。凍結はしていなかった。	38	70101	50~99
2	21~22	満車状態になりつつあった駐車場の車の移動をお願いするために、駐車場の縁を歩いて現場に向かっていた時、誤って幅約1m、深さ約1mの溝に左肩から転落し脱臼した。	66	170201	—
2	19~20	荷物の配達へ行き、車に戻る際、小走りで携帯電話を確認しながら、戻っていたため、前方不注意により用水路（高さ約0.75m）の中に転落した。頭部、顔面を強打したようである。	31	40301	30~49
2	9~10	西コース2番左バンカー横にてボールを探している時に、マンホールの上に乗ってしまい、蓋が外れて足が嵌まり、骨折した模様である。	49	140301	1~9
2	22~23	高圧線の埋設工事中、転圧機（ランマー）の燃料がなくなり補給する為、約200m離れた場所に停めてあった軽トラックのライトを頼りに荷台の燃料缶（10?）を取りに行き、現場の灯りを目指して戻る途中ハンドホールの穴に気付かず顔面から深さ1mの穴に落ちた。尚、当日作業開始の時点では、ハンドホールの周りにはカラーコーンとバーを設置しており穴には転落防止の為コンパネを敷設していたが、落下時にはそれらが撤去されており周知されていなかった。暗闇で照明もなく全くハンドホールの穴には気付かなかった。	57	30301	1~9
2	19~20	調理場の段差のある場所で棚の上にある容器を取ろうとした際に、下が濡れていて滑ってしまい段差から落ちてしまい骨折した。	34	140201	10~29
2	13~14	1階外壁部において、横胴縁を取り付け作業中に安全設備を装着せずに、既に取り付けされていた横胴縁を上っていた為、足を滑らせて約5m下に墜落した。	20	30201	1~9

2	13~14	施設内デイルームで棚に登り壁の掲示物を取り外し、棚から降りるため、椅子の座面に足をかけたところ、椅子が傾きバランスを崩して背面から床に倒れ負傷した。	64	130201	10~ 29
2	8~9	倉庫に、1m×0.5mの発泡スチールを配送作業中、2tトラックを倉庫のプラットフォームに後部を1m程の距離をとって停車させ、車を降りて、手作業で1.5mの高さのプラットフォームに商品を押上げて作業していた。この日は風が強くて、計量の商品が飛びそうだったので、急いで、プラットフォームに手を掛けてよじ登り商品が飛ばないようにしていたところ、突風が吹き、身体のバランスを崩し、プラットフォームから地面に落下した。その際、負傷する。	40	40301	—
2	9~10	配達先の駐車場にて車両を停車させ、2t車の荷台より飛び降りた際に着地点に車止めのブロックがあり足を踏み外し足首を捻ってしまったものである。	34	40301	10~ 29
2	12~13	木造新築工事現場で木造躯体の建方中に、1階部分組み上げ後、2階床の合床（24mm）敷き、2階躯体を組み立て中、幅105mmの木材上でアリ組みをカケヤで押さえ中、バランスを崩し高さおよそ2.7mから落下した。落下した位置に掛けやの柄があり足を強打した。	40	30202	1~9
2	10~11	卸地近くに車を停めて積み替えて搬入をしていた。2回目の積み替えに向かう際に途中に溝があり近くに橋があったが、橋を渡らずに溝を飛び越えようとして失敗し溝に落下した。	18	40301	30~ 49
2	19~20	当該被災者は、乗務終了後、営業所構内のバスを整理中、整備場にバスを駐車し、その後、整備場内に駐車中のバスを外に出す際、整備場事務所にいた整備士に声を掛ける為、駐車中のバス後方を足元を確認せず通過しようとしたところ、堀ピット（幅85cm、深さ92cm）に転落し負傷した。	43	40202	50~ 99
2	14~15	現場作業が終了し、現場作業員は後片付けをしている状況を見守る中、三面水路側にバランスを崩し、転落した際に、水路側のコンクリート杭に股間を強打し、負傷する。	45	30199	—

2	9~10	会社敷地内の資材置場にて商品の搬出作業中、2m程の高さから脚立を使って降りようとしていたところ、誤って足を踏み外して転落し、左肘を骨折した。	39	80209	1~9
2	10~11	現場である河川上流約100mの右岸堤防法面にて、通行車輛等の交通誘導中、リーダーである被災者が相勤者の勤務状況確認のため堤防に登って確認を行った後、堤防から降りる途中で足が滑って尻もちをついてしまい、負傷してしまった。	65	170201	1~9
2	13~14	生コン工場現場で伝票をもらう為にトラックから降りた際横にあった側溝に右足が落ち左足を捻って足の甲にひびが入った。	51	40301	10~29
2	14~15	工事現場製作ヤードで、型枠組立作業をしている時、ボルト穴を合わせる為、バールで調整していた、安全帯を掛け忘れており、勢い余って高さ3.6m下に後向きに転落し下半身を強打した。	51	30111	10~29
2	10~11	河川護岸補修工事現場の環境保全型ブロック積上部でシラス埋戻しランマ転圧時にランマが傾き落ちない様に支えようとしてH=2.5mの場所からバランスを崩し転落した。転落の際に左足が魚巣ブロックに引っ掛かり足首をひねってしまった。	24	30107	—
2	17~18	現場にて、水道配管工事中に屋根のひさしより滑って転落した。その時、左足首辺りを骨折した。	59	30209	1~9
2	8~9	就業時間前に普段より施錠され、立入制限されている本事業場6階屋上に立ち入り、当該場所より同事業場内駐車場に転落し、死亡したと思われる。管理者より当該場所に立ち入るよう指示があったという事実もなく、当方としては、可能な限り原因究明を行ったが、同災害の原因等は不明である。警察からも同様の報告を受けている。	28	120109	10~29
3	13~14	2階屋上で現場待機中に、被災者が3階ペントハウスに設置してある空中線（アンテナ）の角度を確認しようと後ろ向きに後退した際、パラペットに接触してバランスを崩し、2階屋上から地上1階に転落した。	20	30301	1~9
3	10~11	岸壁を歩いているときに足を滑らせ落ち負傷した。	60	170209	10~

					29
3	17~18	資材センター敷地内に倉庫を建設中に屋根部分のパネル張りをしているとき、足を踏み外して高さ3.6mから転落した。	65	30201	30~ 49
3	14~15	2階建てのアパートの解体作業現場で2階の部屋の建具を外し、その建具をバルコニーから1階の2t車へと落としていた際、バルコニーの床が抜け落下し、1階のコンクリート床で腰を強打した。	61	30202	1~9
3	8~9	自社荷台から飲料水4P/Lをフォークリフトで倉庫下屋プラットフォーム（地上高1m位）に納品し、倉庫担当者より商品検品を受けたあと、当該倉庫担当者からの指示で納品した商品最上部にあった3ケース分を別に用意したラック（かご台車）へ移し替えるため積込作業をしていた際、2ケース目に手を掛けたあたりで、雨で濡れたプラットフォーム（端辺り）から商品を持ったまま地面アスファルトへ転落し、肩と頭を打ち負傷した。なお、頭部はヘルメットを着用していたため外傷はない。	57	40301	30~ 49
3	13~14	木造二階建新築工事現場で二階床下地板を張る準備中、二階梁の上を歩いているとき、足を滑らせて落下防止用のアミと梁のすき間から転落し、3m下の床組下地の大引の上に足から腰、頭の順に打ちつけた。	62	30202	1~9
3	14~15	客先マンション外壁塗装のため、外部足場よりバルコニー内に進入時、手摺壁端から誤って足をすべらせバルコニー内に転落し、右膝を負傷した。	51	30201	1~9
3	19~20	業務を終了し、会社駐車場の自分の車に向かって駐車場道路を歩いている途中で足元がつかずき、会社駐車場通路の横の溝（水路、深さ約1.5~2m）にはまり、溝の中で尾てい骨をうち、背骨（胸椎）を圧迫骨折する負傷を負った。	43	80209	100 ~ 299
3	15~16	病院敷地内北側斜面において、フェンス等に掛かる蔦の伐採を行っていたところ、足場を踏み外し5~6m落下し、全身を打撲した。	60	80209	1~9
3	13~14	倉庫内で、ホームと接車しているトラックの荷台に乗り込もうとしたところ、トラックが前進して足を踏み外し、ホーム下に転落し、踵から落	44	50101	10~ 29

		ちたときに左足の踵を負傷した。			
3	11~12	橋梁下部工のフーチング上で、足場組立にじゃまになる型枠金具を1.9m下にいる作業員に渡す際、木材に足をかけ滑って転落した。	46	30201	1~9
3	12~13	解体現場にて内装材撤去中、2階の床が抜けて1階床に落下し、背中を打ちつけた。	19	30309	1~9
3	21~22	トラックバースに積まれていた荷物を数えることに集中し、足元を確認しておらず、荷物の方向を向いたまま後退した時に、トラックベースから足を踏み外し約1.5メートル下に転落し、トラックバースの角に左脇腹があたり骨折した。	57	80401	100 ~ 299
3	16~17	プレハブ解体現場にてプレハブ解体中、足場から足を踏み外し、約2m下に転落し、右膝皿が亀裂した。	57	170209	1~9
3	10~11	休憩時間にトイレから帰る際、何も無い所で安全靴の底が床に引っ掛かり躓いて、左手をついて左肩に全体重がかかり、左肩の関節を脱臼した。	33	10801	10~ 29
3	13~14	お客様宅の給排水工事にて、浴槽配管工事の準備で露出配管の材料を確認するために、エアコン室外機用の鉄板に上がった時に足を踏み外して、1階の倉庫の屋根に落下し、さらに地面アスファルト駐車場に転落し、右肩打撲・鎖骨骨折・腰打撲を負った。	59	30203	1~9
3	12~13	厨房内で洗い物をしており、トレーを消毒保管庫へ運ぶ際、排水升に左足を入れてしまい、足首を捻った。直前に水の通りが悪い為、蓋を開けて様子を見たとき、トレーを持っていたため足元が見えず被災した。	63	130201	100 ~ 299
3	11~12	1~2階の階段踊り場上部にて、鉄骨梁の上でアルミ製建具の位置決め作業をしている時に、足元に置いてあったくさびを取ろうとして体の向きを変えた時、腰袋が鉄骨柱と接触しバランスを崩し、梁の上で足元が不安定になり、足場を組んでもらう親網を設けてもらおう等、処置をせず転落しそうになったので、自分で飛び降り足を強打した。	62	30201	1~9
3	10~11	鉄骨造2階建の社屋新築工事現場で休憩をとるため、2階から下へ降りよ	34	30201	10~

		うとして足を踏み外し落下し、背中を強打し、腰を痛めた。			29
3	16~17	店舗共有のハンディターミナル（発注端末機）を水産部門が使用していると聞いて水産作業場に行き、現物を確認するために歩いていたところ、清掃中で開いていたグリストラップに気付かず落ちてしまい、肋骨2本の骨折と左足腿に打撲を負ってしまった。	62	80209	100 ~ 299
3	19~20	駐車場への案内誘導を行っていた際、50m位先に車両が見え、20m位手前まで来たときに車両との接触を避ける為、後ろ向きに下がった。事前に側溝の開口部があることは認識していたが、後ろ向きであったため目測を誤り、深さ1m・巾60cm程の側溝に転落し、左足をくじいてしまった。その時はあまり痛みが無かった為、業務終了時間まで業務を続けたが、翌日、痛みで歩けなくなった。	62	170201	30~ 49
3	21~22	仕事帰り、北駐車場への出入り口として使われている階段を下りる際、3段目を踏み外して手から地面につき、左手首を骨折した。	53	130101	100 ~ 299
3	9~10	事業閉鎖に向けてヤード内の片付け作業中に、ヤード内外壁に取り付けていた電柱を撤去するため、電柱登りバンドを撤去していたところ、電柱が根元から折れ、電柱と一緒に2メートルくらいの高さから落下し、胸部を切る怪我をした。	53	30209	1~9
4	10~11	配送先で荷降し後、回収容器をトラックに運び、積み込み作業をしていた際に、容器が入った台車をホーム上でトラックコンテナ付近まで後ろ向きに引っばっていたところつまずいて、転倒して地面に落下し、右手をついた際に右手首を痛めてしまった。	49	40301	50~ 99
4	9~10	会社事務所敷地内の単管小屋（壁無しで単管組上）の修理作業のため、約3.5メートルの高さに登りクランプの締め付け作業をしていたところ、足を滑らせ地面に落下した際、左足踵を強打し骨折した。	20	30202	10~ 29
		砂貯蔵槽内鉄板の補修工事を行うため、貯蔵槽内を空にする必要があり、一部残量があった砂の抜き出し作業を行った。被災者は工事請負業者の監督者と二人で、砂貯蔵槽に入り作業を開始したが、作業の開始後			

4	15～ 16	別の作業道具が必要となった。監督者は道具を取りに作業の場所を離れ、貯蔵槽を出た直後に突然槽内から発声があり、貯蔵槽上部より監督者が中を覗き込むと、残っていた砂が崩れており、砂の中に埋もれている被災者が視認された。なお、事故後、安全帯の装着は確認したが、安全確保策の形跡は確認できなかった。	37	10901	10～ 29
4	13～ 14	入居ビルにて、トラックヤード横にあるゴミ置場へゴミを捨てに行った際に、ブルーシートを敷き作業を行っている場所を避けようとした時、右足を踏み外しそのまま約100cmの高さがあるトラックヤードのデッキより落下し、左太もも側面及び左手を強打した衝撃により骨折した。	66	80109	10～ 29
4	8～9	被災者は、工場内の電気集塵機改修工事現場で、集塵機のホッパー接続部分を清掃しようと、ホッパー上（地上約3m）に乗って作業をしていたとき、足を踏み外し約3m下のコンクリート基礎に落下し被災した。	43	30302	1～9
4	23～ 24	作業の合間に飲み物を買って休憩所を出る際、休憩所の扉がホーム段差ギリギリにあっただけ足を踏み外し、ホーム下に転落し右足を捻った。	38	170209	50～ 99
4	11～ 12	倉庫ではしごを使用して、ラックの上の在庫を確認していたところ落下し、左後頭部と左胸を強打した。	50	40301	100 ～ 299
4	11～ 12	当社敷地内にある駐車場の屋根の点検修理のため屋根に上っていた時に、屋根の腐食した部分に足を乗せてしまい、体の重みで屋根が陥没し、そのまま下のコンクリート部に落下して左足踵部を骨折した。	43	40301	50～ 99
4	11～ 12	工場内にて、高さ1.8m位のタラップの所からバランスをくずし落下し、左足を骨折した。	42	11301	10～ 29
4	17～ 18	和タンスを吊り作業中、タンスを手元まで引き上げ横のベルトをつかみ持ちあげ直す際、タンスが上がり切らず、もう一度持ち直しの時柵に体を預けた際、柵が外れ柵ごと落下する。	21	40301	30～ 49
4	20～	業務が終了し、入退店口から従業員駐車場へ向かう途中の用水路にかかる橋付近の道路を歩行時、橋を渡ろうとして足を出した所が橋から50cm	48	170209	50～

	21	位右側の柵がない所であった。考えごとをしていたため、足元を確認しておらず、用水路に転落して負傷した。			99
4	23～ 24	自社構内ホーム上で、伝票と荷物を確認中に誤って足を滑らせホーム下に転落し、左肩を打って痛みがあったがそのまま仕事をし、その後も痛みが治まらなかった。	59	40301	50～ 99
4	11～ 12	開催される舞台設営中に誤って舞台より転落し、足を強く打ち付け、左足踵骨を複雑骨折する。	36	130201	100 ～ 299
4	2～3	工場サイロ内にてチップ積込作業中に、足元のチップに滑り、サイロ床で強く尻もちをつき骨折する。	49	40301	30～ 49
4	9～ 10	地面に埋め込み式の鉄くず缶が一杯になり空の鉄くず缶に交換した際にバランスを崩し空の鉄くず缶の中に落下し、左ひざと腰のあたりを強打した。そのあと自力ではい上がり測定作業をする際にバランスを崩し、製品と接触して口元を切った。	62	11209	—
4	23～ 24	運行乗務員が支店ホーム上を歩行中、ホーム端から足を踏み外してホーム下に落下した。	55	40301	100 ～ 299
4	9～ 10	職場施設内の2階より地下に下りようと階段を使用中に、足を滑らせて落ちた。	49	130201	100 ～ 299
4	10～ 11	鉄骨建方中、水平ネットの隙間が大きいことに気づき修正するため鉄骨胴縁に足を掛け、安全帯を使用せず片手で身を乗り出して作業中に、手を滑らせて転落した。	21	30201	1～9
4	17～ 18	港に係留していた船からフェンダーを岸壁へ移す為に投げていたとき、フェンダーがチェーンフェンスに当たり海に落ちそうになったので、フェンダーを拾おうとした時に誤って体も海に落ちそうになり、左腕で太いロープにつかまった際に全体重が左肩にかかり骨折した。	45	40102	10～ 29

5	10～ 11	新築工事現場において、建方作業初日に二階床合板敷き込み作業中（梁上、合板小口にボンド塗り）、平行移動したところ資材に接触しバランスを崩し、左足を梁上に出し体勢を立て直そうとしたところ柱脚金物（ホゾパイプ）に上がってしまいバランスを崩し、梁630mm×880mmの間から2,880mm下の一階床へ落下し、背中を強打した。	63	30202	1～9
5	14～ 15	農場鶏舎内にて餌といの中のを均す作業をしていた時、足を乗せていた4段式ケージの2段目餌とい（高さ約50cm）から地上に降りる際に左足首を負傷した。	51	70101	1～9
5	13～ 14	事業所内の窓拭きをしている際、網戸が外れてしまい、網戸を拾おうと、窓外（約40cm）に飛び降りたところ、右膝に痛みがはした。	47	140201	1～9
5	16～ 17	被災者は出張で会議に出席した後、新幹線を利用して戻るため移動していた。新幹線ホームを移動して、到着を待つ列に並んだところ、一瞬ふらついた際に柵の間から線路上へ転落し被災した。	48	80109	100 ～ 299
5	16～ 17	修繕工事現場の敷地内で、道路から駐車場に至る出入口横の袖壁に乗り、袖壁撤去工事に伴う雨養生の作業中にバランスを崩して高さ1790mmの袖壁から落下し、左足かかとを負傷した。	52	30209	10～ 29
5	14～ 15	清掃作業中、絨毯張り階段を下る際、滑り止めがなかったため足を滑らせ、右膝を捻りながら転倒し、右肘内側打ち身・右足長腓骨筋肉離れ・腓骨端部にひびを負った。	66	150101	10～ 29
5	14～ 15	クレーンによる荷取りステージ揚重作業中、荷取りステージに長尺物の荷揚げを行う前に荷取りステージの先端手摺を外し作業を行った。長尺物の荷揚げを完了し、手摺を復旧せず作業を引き続き行った際、パレットに箱物をのせて荷揚げし箱物を荷取り後、パレットを下ろす時にパレットに玉掛けを行うには配置が悪く、相番者に少しパレットを移動するように指示を受ける。被災者は落下を防ぐ安全帯を掛けておらず、5～6歩勢いよく後ろづたいにさがり、足を踏み外しパレットと共に地上に落下した。	29	30201	1～9
		立坑内に入るために、昇降口付近に立ち（深さ約0.6m）、安全帯を装着			

5	11~ 12	しようとしていた際、セーフティブロックを引き寄せて、安全帯のリップ環にセットした後、帯を腰に巻こうとしていたが、セーフティブロックを引き寄せた時にバランスを崩して3.15m下まで落下した。	41	30110	1~9
5	9~ 10	15tユニック車にて製品7本を納入する際、ベースの上へ2本降ろしてから続けて3本目を降ろすとき、製品天端部分に乗りラジコンを操作しながら降ろしていたところ、蓋掛かり部分から足を踏み外して落下した。	49	40301	1~9
5	14~ 15	当社工場内の製品搬出作業場で、搬出口に10tトラックを横付けして、金型製品（1,000mm×1,000mm×1,000mm、1t）を10tクレーンで吊り上げ、トラック荷台に積み込み作業をしていた時、搬出口（高さ1m）の端から足を踏み外して落下し、着地した時に右足の足首と第4指と第5指を負傷した。	25	11209	10~ 29
5	17~ 18	作業員Bがロフトから続く吹抜け部の床パネルを脚立で作業中、ロフトから被災者が手伝いに来て際にバランスを崩し、二階の床パネルに転落し腰を負傷した。	60	30202	1~9
5	14~ 15	競馬場構内において、拭き清掃作業中、勾配と距離がある斜面であり、滑ると危険な箇所である事は被災者を含めて全職員が認識していた為、当該箇所の清掃方法について、所属長より斜面へ立ち入らず清掃を行うよう安全な方法が指示されていたが、被災者がその指示を守らず立入り、座った姿勢で拭き清掃作業を行った事と、いつもより埃が多く溜まっていた事が原因で、斜面にて足を滑らせ転落し打撲した。	45	150101	1~9
5	16~ 17	翌日の作業の打合せを行う為、貯留槽に上っていたが、内部の状況を見るため下に降りようとした際、開口部から床面に足から落下した。	73	30102	1~9
5	11~ 12	建物北西側の屋根大梁上で、パラペット胴縁を束柱に取付していた時にバランスを崩し、約9.4m墜落した。	45	30201	1~9
5	11~ 12	事業所の倉庫を整理している時、約150cm位の高さの所から落下し転倒した。その際、体全体と、右足を強く打ちつけた。	44	30209	1~9
	9~	ブロックの製造において、グラインダー作業中、場盤より50cmの高さの			10~

5	10	治具作業でガーダーの上を歩いている時にバランスを崩し、転倒して右腰を打撲する。	25	11501	29
5	9～10	プラント運転停止後に設備（クレンチ塔）の洗浄を行い、開口部の養生を行った。洗浄後の復旧前確認を行う為、開口部の養生を外した直後に意識を失い、1.85m下の作業架台に転落し、左目上、眉間、首の3ヶ所に切創（合計10針縫合）、腰部等を打撲（内出血有り）した。	34	10801	300～499
5	3～4	出張のため経由便の飛行機に乗るため、5名が車で乗り合わせて行くため、事務所に明け方出社して、駐車した車のトランクより荷物を取り出そうとしたところ、駐車スペース後ろの側溝へ暗闇で気づかず躓き、隣の敷地との間の水路に転落した。その際、左手を強くついて肩部分を3ヶ所骨折した。	38	90209	10～29
5	11～12	艇体の上で、仕上作業を終え艇体上を移動中、通常では歩かない所を歩行中、艇体の傾斜のある部分に足を滑らせ、落下して右手小指を打ち骨折した。治療後に右手小指の曲がり方に異常があった。	34	11501	50～99
5	16～17	引越作業中、窓の掃き出しから後ろ向きに降りた際、右足で安全靴を踏んだことでバランスを崩して転倒した。その際、右手を地面について親指を骨折した。	39	40301	30～49
5	13～14	中学校において給食配送後の食器回収をしていた際、約50cm段差のあるターミナルに上がる時に足を踏み外し、バランスを崩して転倒し、左腕を強打した。	72	170101	1000～9999
5	9～10	個人宅にて、高さ2.5m位の場所から下に停めてある2tダンプに剪定ゴミを落としている時に、フェンスが倒れて頭から2tダンプの荷台に転落した。	65	60101	10～29
5	15～16	事務所に行くため、本館建物を普通に降りている際に躓き、左足で着地した時に前方に折れ曲がり転倒した。	49	30201	1～9
5	11～12	店舗改装中、天井裏にて配線を確認中に天井が抜け落ち、下に落下し着地したときに背骨を圧迫し、負傷した。	31	140201	10～29

6	16～ 17	豚舎の天井裏を通り、豚房内の給餌器に飼料を搬送するドロップパイプの緩みに気づき、修理のため豚房柵に足をかけ、上り口より天井裏に上り、緩みを締め直した。修理が終わり下に降りようと豚房柵に足を掛けた際、足を滑らせ豚房柵の上部に股間から尾てい骨にかけ強打した。	44	70101	10～ 29
6	9～ 10	配送先の荷おろし後、一旦、車を移動し、屋内で少し作業をし、外に出て車に乗るため、プラットホームに右手をついて降りようとした時、手が滑って左半身から下に落下し、左大腿骨を骨折した。プラットホームの高さは1mで、建物の脇側には上り下り用の階段があったが使用しなかった。	57	40301	50～ 99
6	14～ 15	荷卸し先の積み卸しを行うスペースにトラックを前進で停車し、トラック後方部に積んだ荷物を下ろす作業に取り掛かった。2段積みの上段の荷物をフォークマンに取ってもらい、次の荷物を下ろす為、荷崩れ防止の為に取り付けたラップを外そうとバースを横伝いに移動した。左側（トラック後方）に進んだところ、足場がなくなっていることに気づかず、足を踏み外して転落した。その際、足場に体の右側をぶつけ負傷した。	44	40301	30～ 49
6	16～ 17	新築工事現場で、型枠組立取り付け作業中、40cm程の高さのコンクリート基礎の上から地面へ降りる際に、碎石に足を取られ、左足首を捻って両膝を地面に打ちつけた。これにより左足首と両膝を負傷したものである。	50	30201	—
6	10～ 11	戸建住宅屋根塗装作業時、バランスを崩し、軒先（約3mの高さ）より、地面に落下した。その際、隣家との境にある波トタン製フェンス（高さ約1m）に左上腕部より接触し負傷した。	26	30209	1～9
6	10～ 11	大学芸術館ホール内の清掃開始時、責任者が前室にある電源盤を操作し照明をつける作業中、被災者が、責任者の制止を聞かず舞台の方へ歩いていったところ、照明がまだ点いていなかった為、舞台から足を踏み外して、70cm下の床に足から落下し、指を骨折した。	68	150101	100 ～ 299
					300

6	9～ 10	車輛棚卸しの為、工場内に停車してあった車輛の情報確認を行っていたところ、誤ってピットに落下し受傷した。	59	11502	～ 499
6	9～ 10	プラットホーム内で不燃ゴミ・大型ゴミ受入ホッパに自転車を投入する際、受入ホッパ車輪止めの上に乗し、手袋の手首開口部を開放状態にしたまま作業を行った為、自転車のハンドルが手袋の手首開口部に引っ掛かり、バランスを崩して受入ホッパに転落した。	65	170101	30～ 49
6	14～ 15	解体中、4階フロアにおいて石膏ボード片を詰め込んだフレコンバックを、4階踊り場から3階踊り場に落下させて排出する撤去作業を行っていたところ、足がフレコンバックの持ち手部分に絡まり落下した。	69	30209	10～ 29
6	14～ 15	プラント内、ベルトコンベアーでのモーター交換作業をしていた。足場を梯子で確保したが、不安定な状態でのボルト締め作業であった。結果、ボルトを締め過ぎたためボルトがちぎれ、梯子から後ろ向きで転落した。	55	20202	10～ 29
6	9～ 10	一次加工、鋸盤（切断）での2回目の切断準備中、切断マークに光を当て鋸刃の影に切断マークを合わせる作業中、工場の明るさで、鋸刃の影が見えにくかったため梁の上のぼり切断マークを合わせる作業を行い、作業完了後、梁の上から降りる時に足が梁のフランジに引っ掛かり、そのまま前に転倒した。転倒した時に、下に置いていたH294×200×8×12、長さ400の切れ端（スクラップ）のフランジ上面に顔をぶつけた。	22	11209	10～ 29
6	11～ 12	発着場において、停めてあった車に乗り込もうと、発着場から地面に降りようと左足を発着場の端に付いているゴムに足を掛けて降りようとした際、滑って地面に着地した時に左足を捻って力が掛かり、骨折した。	61	110101	100 ～ 299
6	9～ 10	出勤後、着替えを終えて作業場へと移動中、蓋が開いていたマンホールに落ち、左胸を強打した。	33	80209	10～ 29
6	14～ 15	約2.5mの高さに張った養生シートに載っていたコンクリート片を、梯子に登り除去した後、降りようとした時、約1mのところまで足を踏み外し、	62	30201	10～ 29

		梯子から転落した。その際、地面に右手を強く着き負傷した。			
6	18～ 19	総菜バックヤードで作業台の上を拭いていた時、別の人が足元のグリストラップの蓋を開けて掃除していたのに気付かず落下した。両足の脛を打ったが、すぐに冷やして消毒し仕事を続けた。傷口が開いて血がたくさん出た。	22	80209	100 ～ 299
6	9～ 10	国道高架下、道路横路盤工事において、道路停止中のダンプの前方にて、歩行者等の安全確認中、後方に一步下がった時に道路横の溝（高さ約1m、幅約50cm）に転落した。	65	170201	10～ 29
6	11～ 12	公園内の石垣にて、石垣に生えている草の除去作業中、擬木柵にメインロープを緊結し作業を行っていた。その際、擬木柵にメインロープのフックをしっかりと掛けていなかったため、メインロープが外れ、4～5mの高さから転落した。	38	30199	1～9
6	16～ 17	個人宅新築上棟作業中、2階屋根の桁上を移動中に誤って足を踏み外し、直下の2階床に転落したため、第11胸椎を損傷した。	64	30202	1～9
6	9～ 10	乳牛用飼料製造の原料（粗飼料）切り込み・投入作業中、作業台（地上高1.5m）から誤って足を踏み外し、床に転落する。	27	10101	1～9
7	11～12	営業所内にて足場資材の整理作業中、結束された支柱（3600）を指定箇所にフォークリフトで積み上げていた。支柱整理用の台木が斜めになっていたため、台木を直そうと支柱最上段によじ登り直し終わって降りる際、誤って転落、約3m下の鉄板上に背中から転落、背骨を骨折した。	28	30202	1～9
7	11～12	不良品回収作業（主にエアコン）をしており、積荷場所の高台から足を踏み外して落下した。落ちた際は、腰部分を強打した。	46	80109	30～ 49
7	9～10	会社借用の資材置場に、アスファルトを砕いた片を捨てに車両にて行い、その後、アスファルト片の状況を確認していたところ、草が水路に被さっていたのを知らず誤って転落したものの。	38	30199	10～ 29
7	23～24	夜間現場の鉄塔付近で、被災者は、列車の監視をする列車見張員として作業現場へ向かって移動中、雑草の生い茂った法面上部を歩いていた。	43	170201	50～

		被災者は、濡れた雑草に足を滑らせ法面下部の道路脇の擁壁1.3mから転落して受傷した。			99
7	11~12	発掘調査現場で約1m掘り下げた箇所を降りる際、普段は梯子や階段で下りるが、大丈夫だと思い、飛び降りて左足を捻ってしまった。歩く際に足首に痛みがあり、少し経過観察をしていたが、痛みが若干あった。左第5中足骨骨折と左足関節捻挫であった。	66	170209	30~ 49
7	14~15	2階建住宅の解体工事現場において、飛散防止のメッシュシート（180cm×360cm）を掛ける作業中、組んであった単管パイプ（直径5cm長さ4m）に乗りシートを掛ける際に、足を滑らせ、5~6m位の高さから転落した。一度鉄製物置の屋根（高さ2.5m）に落ち、その後1m位の高さの単管パイプに当たり、地面に落ち体を打ち負傷した。（ヘルメットは着用）。事故後直に救急車で搬送された。	73	30309	1~9
7	14~15	駐車場棟1階屋外電気室補修工事現場で低温卸売場の天井裏スペースで電気配線作業の指示確認中誤って天井点検口を踏み抜き1階フロアに転落してしまった。	41	30301	10~ 29
7	11~12	木造住宅1階浴室外壁部にて、外装工事作業中、外部一側足場及び隣地境界コンクリート立上りにおいて、足場から近い場所に隣地境界コンクリート立上りがあり、足場の手摺を超える、もしくは潜り抜けた場合、隣地境界コンクリートに降りることが出来た。足場と境界コンクリート立上りの隙間に金梯を落としたため、それを拾おうとして足場の手摺を潜り抜け、境界コンクリート立上りの上に足を掛けたところ、足が滑り、体が横倒しになった際、右胸部を境界コンクリートに強打した。	65	30202	1~9
7	9~10	作業場にて、貯水タンクの位置調整中に、高さ約8mのタンク上から足を滑らし、地面に落下した。	41	70101	1~9
7	3~4	お客様を自宅まで送り、車を降りた際、暗くて見えず、誤って側溝に落ちた。	53	170209	30~ 49
7	23~24	道路上で、依頼を受け客を車で迎えに行き、車から降りて、客を探していたときに客を見つけて歩み寄ろうとし、足元に用水路があることに気	53	170209	50~

		付かず用水路に落ちた。			99
7	20~21	工場での作業終了後、手洗い場へ向かう途中で、ルートを勘違いして、工場の間を流れる川へ落ちてしまった。（川底はコンクリートで深さ2.5m）	64	11209	10~ 29
7	15~16	クレーンから降りて、機械修理中の箇所を覗くためピットをまたいだところ、足を滑らせて、ピット下へ転落し背中を受傷した。	56	11501	10~ 29
7	9~10	業務の清掃後の朝礼を始めるために換気のために開けておいた、消防用の外からも開けられる窓を閉めようとした所ブラインドカーテンのひもが、窓の外側に出ており、このままでは窓が閉められないので、窓枠に上り、手を伸ばし、ひもを取ろうとした際、窓が動き、バランスを崩し、4階より、地上に転落し、全身を強打した。直ちに救急車で病院に運ばれたが、死亡が確認された。	50	80302	10~ 29
7	16~17	被災者は、当日朝より番船残工事のため本社工場より別の工場へ出張工事に来ていた。夕方スロップタンクの残工事（刷毛塗り）をするためサイドパッセージのハンドレール上段（UDより2400）に立ちワイヤーロープを掴もうとした時足を滑らせアッパーデッキに転落し、被災した。	61	11501	10~ 29
7	11~12	被災者がホーム上の清掃作業を終え鉄製の台車へ載せたゴミ袋を集積場へ運ぶため、ホーム端のスロープを降りるため後ろ向きに台車を引いていたところ、スロープ手前で足を踏み外し、ホーム下へ落下し受傷した。	50	40301	50~ 99
7	0~1	お客様の自宅まで運転代行をした。随伴車が迎えに来るまで少し歩こうと思い、暗闇の中を何メートルか歩いた時に同僚から電話があった。用件が済み、何歩か歩いた時に1m弱の高さの溝へ落ち、左手でカバーしたのか手首が痛くなった。	55	170209	1~9
7	8~9	震災被災家屋ジャッキアップ工事現場で一輪車にて土を運搬する作業中に、注意不足から足を踏み外し、準備のために掘った溝（60cm深）に落下し、腰を強打した。	54	30202	10~ 29

7	19~20	新築工事現場において現場作業終了後、片付けをしている際、玄関ポーチ（基礎部）と地面の段差約50cmを、工具箱を持って降りようとして左足首をひねった。靭帯損傷と診断され、左足首を固定した。	18	30202	100 ~ 299
7	15~ 16	当該物件の建物点検業務を行っていた。この部屋の窓拭きをしていたところ、誤って足を滑らせて窓の下へ落ちてしまった。	41	90209	1~9
7	15~ 16	新築工事現場において、2階の木張り前の断熱材の引きこみ作業中に誤って断熱材に足を乗せてしまい、そのまま断熱材を踏み抜き、1階まで落下し負傷した。	51	30202	1~9
7	3~4	顧客の工場内において荷物を下ろしていたところ、車両後部と着床バースとの隙間約15cmに左足を踏み外し落下、その際左足ふくらはぎ及び左膝を打撲したものである。	36	40301	300 ~ 499
7	14~ 15	防雪柵に絡みついた雑草や蔓等の除草作業中、右足を防雪柵下部（地上高90cm程度）に上に置き、左足を転落防止柵（地上高110cm程度）の上に置きながら作業をしていた。作業を終えて下に降りようとした際に足を滑らせ落下し、右足が防雪柵に接触し負傷した。	24	30106	50~ 99
7	9~ 10	排水路補修工事の現場で、安全管理作業中、擁壁の幅1mの天端に土のうを設置後、その土のうにつまずき身体のバランスをくずし、高さ4.1mの擁壁伝いに舗道のコンクリート床面に滑り落ちた。	70	30111	10~ 29
7	16~ 17	基礎型枠建込作業中、地中梁上から型枠材を引き上げて移動しようとした際、バランスを崩して掘削底に約2m転落し、ベース型枠に足を打ちつけ負傷した。	61	30201	1~9
7	11~ 12	客宅にて、2階から修繕する網戸を持って階段で下っている際、誤って階段を一段踏み外し、その拍子に右足に激痛がはしり、痛めた。	46	10503	1~9
7	7~8	駐車場にて、イベントのために従業員の車を整理誘導中、車をバックで駐車させる際に、車が止まり、少し調整するためにさらにバックしたところ、自分の後方のスペースがなくなり、誤って後方の深さ1.2m程度の水路に転落し、地面に手をつき左手第4指・第5指の基節骨を骨折した。	34	130101	300 ~ 499

7	15~ 16	第1工場内コイル矯正機現場で、コイル先端をロールに入れる作業中、誤ってコイルをロール下に入れてしまったため引き抜いたところ、握っていたコイルが跳ね、それにつられて現場から落下（1.8m）し、右膝を打撲した。当日は軽い痛みのため業務を続けたが、翌朝になって痛みがひどくなった。	54	11209	50~ 99
7	9~ 10	タワーパーキングの解体作業中、解体した鉄骨をクレーンで移動させる作業の補助の際、鉄骨の上に乗っていたところ、自身が乗っていた鉄骨が崩れ落ち、咄嗟に近くの足場に飛び移ろうとしたが間に合わず、10m下の地面に落下し負傷した。なお、常日頃から安全帯の着用を指導していたが、被災労働者は、安全帯は着用していたものの、フックを掛けていなかった。	47	30209	1~9
7	11~ 12	当該社員は、詰所にてチェックシートの記載を終え、3号車の床下機器点検のため出勤した。ヘルメットのあご紐をつけながら3号車に向う際、点検台に上がる階段付近にて誤ってピット内に右足を踏み外し、1mの高さからピット下に右半身が下向きの状態で転落した。	56	40101	50~ 99
7	9~ 10	校舎とラグビーグラウンドの間にある外通路で、被災者が、除草を行う前の準備作業として、熊手を使用して蜂の巣の有無を確認していた際、誤って開口部より約5m下の地下駐車場に転落したと思われる。本業務は安全面を考慮して二名一組で作業を行うが、今回、被災者はペアを組んでいた者が道具（熊手）を取りに行っている間に、一人で同作業を行ったと思われるが、現認者はいない。	62	120109	500 ~ 999
7	16~ 17	改修工事現場において、1階底上のコンクリート外壁に配管用の穴あけ作業をしていた際、底上（高さ3m）に上がったの作業中、移動（後退）時に、コアー抜き作業時に使用する水を入れたバケツに躓き、バケツと共に底から地面に転倒し、第5・7頸椎と頭部を受傷した。足場を組み、安全帯を装着していたが、移動のためにたまたま安全帯を外していた時に災害が発生した。今後、高所作業の際は、移動中であっても必ず安全帯を使用するよう指導した。	29	30203	1~9

7	17~ 18	単独作業中に発生したため、以下状況による推測である。通常業務が終わって、配達のため商品を自家用車に積み込んだあと、戸締りをしようとしたとき、オーバースライダーシャッターのチェーンホイストに不具合があった（ホイストの位置は1階床面より約7m）。これを修復しようと、2階（床面より約4.6m）の踊り場から、その手すり（その上端は2階床面より約1.2m）などに上り作業しようとしたところ、バランスを崩して転落しそうになり、ホイストのチェーンに一旦は掴まったが、耐えられず転落した。その時の高さは、4m前後と推測される。	41	170209	10~ 29
7	9~ 10	ペレット燃料を貯蔵タンク（約3m）に補充する作業中、トラックからクレーンでペレット燃料を吊り上げ、位置調整のためクレーンのクラブに縛り付けたロープを引き寄せたとき、ロープが切れて、バランスを崩してタンクから転落し、被災した。	54	10409	10~ 29
7	10~ 11	開店前の準備のため、凍結保冷材用のペットボトル（2L）2本を手に抱えて運搬中、座敷と土間の50cm程の段差に気付かずに落下し、転倒した際に着いた左足に体重がかかり、怪我をした。	59	70209	10~ 29
7	21~ 22	お客様宅を訪問後、自転車を取りに建物の裏側に歩いて向かうとき、後方からの自転車の接近に気づき、右に避けたところ足を踏み外してしまい、1.4m程の高さの溝に落下し、腰と左足を強打して負傷した。	26	170209	50~ 99
7	8~9	2階南側底鉄骨上部の鉄骨梁上で、デッキ受金物の取付作業にかかるべく、被災場所で準備中に、移動のため安全帯の掛け替えを行おうとし、掛け損なって足を踏み外し、4.0m下の地面に落下した。不安全行動としては、安全帯を使用していたが、移動時に不用意に外し、足元もよく確認せず、不安定な姿勢で移動したことが考えられる。	64	30201	1~9
7	23~ 24	市街地標識設置のため、道路を規制して作業中、資材車から標識板（2.5m×0.6m、約30kg）1枚を作業員2名で取り降ろしにかかったところ、被災者が標識板の中央部にいたため、邪魔になると思い避けようとしてバランスを崩し、道路脇（高低差1.4m）に転落した。	35	30106	1~9
	10~	2Fギャラリーにて、ガラスの取付作業時に足場とギャラリーに隙間があ			30~

7	11	り、そこから何らかの理由で体勢を崩し転落した。	57	30201	49
7	16～ 17	ツールボックスミーティング後、差し口リフターのピット内清掃作業を行うため、リフターを上げてピット内に下り、ストッパーをセットした。その後、清掃道具を取りに一度ピット外に上がり、再びピット内に降りる際に立ちくらみがして、約40cmの高さからピット内に転落した。	43	10402	100 ～ 299
7	9～ 10	スライサー工場（カベブロック検査場）南側出入口において、敷板（6mm×2mm×9mm）を2名で運んでいた。その際、被災者は後ろ向きで、後ろが見えない状態のまま運んでいたため、バランスを崩して出入口横の高さ30cm深さの溝に落ち、左足踵を突っ込んだ。	63	10402	50～ 99
7	11～ 12	船外弁の漏れ確認をした後に下りる際、足元を見ずに後ろ向きに下りたため、段差になっていた所に落ちたため、横腹（右側背中・腰の上）を打った。	64	11501	10～ 29
7	15～ 16	大組D2定盤で鉄工完了ブロック（94t）をD4定盤に移動するため、200tクレーンのワイヤーを玉掛けした。ブロックから地上に降りる時に、中段（1,050mm）の高さでバランスを崩して墜落した。	29	11501	50～ 99
7	16～ 17	単独でGR作業に従事していた際、DK上の作業が終了し、BOAT、DK反壁下部（階段側面）のGR作業のため、POOP、DKへ降りる階段を移動していたとき、ゴーグルを着用したまま移動したため視界が悪かった。また階段が船舶用のため、端部が丸くなっており滑りやすく、BOAT、DKから4段降りたところ（POOP、DKから7段目、高さ約1630mm）で階段を踏み外し、POOP、DKへ転げ落ち、その際にPOOP、DKにあるウインチに右目をぶつけた。	50	11501	1～9
7	17～ 18	会社内車庫にて、車庫内端に駐車していた作業車で使用した道具を整理中、作業車後方の高さ約2mの壁から足を踏み外して落下し、右足を骨折した。	39	170209	1～9
		弊社社屋内倉庫にて、ピッカーを使用してピッキング作業中、ネステナーの3段目の商品を取ろうとした際に、当該ネステナーの前に別のピッ			

7	18～ 19	カーが止めてあったので取ることができなかった。そのまま移動して商品を取ろうとし、安全帯を外してピッカーからネステナーに移ろうとした際に、足を踏み外してバランスを崩し、床面（H2.8m）に落下した。その際に左大腿部・頸椎・右手親指を負傷した。	64	80401	50～ 99
7	17～ 18	新築工事中、鉄骨上で屋根葺き下地タイトフレームの墨出し作業をしていたところ、屋根水下の鉄筋上からバランスを崩し、ネットに落ちた。その反動でネットを結んでいたPPロープが切れ、約7m下の既存アスファルト舗装面に墜落した。	41	30201	1～9
7	15～ 16	ホームの上で荷積み中に、ホームから転落し、地面に置いてあったパレットに接触し、脇腹・背中・腰を負傷した。	44	50101	30～ 49
7	9～ 10	工場の3号キルンEP出口ダクトにて、修理箇所の点検をするため、被災者と製造係員の2名でダクトの内部に入った。被災者が整流板横を通過して隣のダクトに移動しようとしたとき、幅約200mmの直管部を歩行中に足を滑らせ、3.6m下のルーバーダンパー上に転落した。点検作業時、被災者は安全帯を着用していたが未使用であり、親綱もなかった。また、ダクト内は照明がなく、足元が暗かった。	68	30309	10～ 29
7	15～ 16	牧草を育てるための畑を購入し、畑に置かれていた材木を撤去する作業の補助をしていた。運び出しやすいように、等間隔に置いた材木の間を移動中、よそ見をして足元が疎かになり、畑の横の側溝（幅約1.5m、深さ1.5m）に転落した。落ちた際に側溝の床に手を着いてしまい、左手首を骨折する負傷をした。	50	70101	1～9
7	14～ 15	マンションエレベーター昇降路ピット内にて、塔内下部減速リミットスイッチ取替え作業中に、ピット床より3m程高い位置に設置された下部減速リミットスイッチの確認のため、ピット床より1.7m程高い梁に上がり、確認作業を行っていた。一旦ピット床に下りようと、バッファ（緩衝器）に左足を置いたとき、踏外して転倒し、左足膝下を負傷した。	40	170209	10～ 29
9	20～	営業活動中、田んぼ道で、夜間の街灯がほとんどない場所だったため、暗くて足元が見えず、道路脇に深さ1.5メートルほどの側溝があることに	27	170209	10～

	21	気づかず、誤って側溝に転落し、左ひざを負傷した。			29
9	16～ 17	カントリーエレベータ内で、湿式スラッチコンベアのモーター部分の工事完了写真を撮り終わって下りる時、高さ1.2mの位置から足をすべらせ落下した。	55	11209	30～ 49
9	8～9	営業所内の倉庫にて、プレハブ型展示場の屋上物置スペースにフォークリフトで荷上げたロール状の断熱材を保管する際、体勢を崩してしまい約3m下のコンクリート地面へ落下。その際、ヘルメット未着用、落下防止措置をしていなかった。	49	40303	10～ 29
9	8～9	珪乾燥調製施設で、珪の貯蔵庫からサンプルを取り出し、ドアを閉めようとしたところ、バランスを崩して後方に倒れた。倒れた際に、機械（コンプレッサー）に胸がぶつかり、肋骨を骨折したものである。	65	170209	10～ 29
9	11～ 12	空港内のゴミ処理場で、ゴミ収集車内のゴミを投棄する為、ゴミ収集車荷台後方観音扉の取っ手を強く開けた際に、手がすべって取っ手から外れて後方へよろけた。その際に、車輪止めに足を取られて、ゴミ投棄場内へ落下した。	69	150101	300 ～ 499
9	9～ 10	工場において、資材を生産ラインに供給する高さ約3.5mの架台の上での作業中、ハンドリフトにて資材を移動していたところ前方に設置してあった落下防止用パレットに接触したため、荷崩れしそうになった資材を整列（通そうと全面に回りこんだところ）足を滑らせ架台より落下し負傷した。従来高所作業場である架台には全面に安全柵は設けてあるが、現在資材供給機器の増設計画実施のため、架台を拡張したばかりであり、機器納入のため一箇所だけ安全柵を設置しておらず仮の落下防止パレットを設置し、納入後に全面的に安全柵を再設置する予定であった。	20	10102	10～ 29
9	15～ 16	物流倉庫にて、荷物のラップを巻いている時に、誤ってラップが切れてしまい2m下に落ちて負傷した。	50	40301	30～ 49
		共同溝入溝口から500m離れた溝内で構築調査作業終了後、終了報告をす			100

9	16～ 17	るために携帯電話の電波が通じる換気口に移動して座った状態で電話で報告した。その後、立ち上がる際に立ちくらみで隣接する共同溝の開口部から2.5m転落した。	42	30302	～ 299
9	20～ 21	移転に伴う応援作業がほぼ終了し、現場事務所に向かう途中、入出荷バスより落下し負傷した。入出荷バスの床はダイヤモンドハード加工となっており、また夜で暗く、台上1メートル下の床との境目が見えにくくなっていたことから、通路があると思い込み足を踏み外してしまった。	43	80109	～ 9999
9	17～ 18	運転士は、乗務し休憩時、所内の洗車場でフロントガラスを拭いていた際、足場にしていた車止めの切れ目に気付かず足を踏み外し転倒、下顎と両腕を負傷したものである。	50	40202	100 ～ 299
9	17～ 18	工事現場の交通誘導業務終了後、置場に駐車してある同僚の車の所へ向かう際に、排水溝の端部の古くなってボロボロの笠コンクリートの上に足を乗せたところ、滑って排水溝に転落し右足すねを強打した。	34	170201	50～ 99
9	14～ 15	第三貨物地内において、梁の上での水中ポンプ設置作業中、梁をまたごうとした時、ドラム（直径30cm重さ約5kg）が鉄筋に引っかかり落下し、膝を強打する。	30	30201	10～ 29
9	7～8	出向先に於いて、廃液をバキュームローリー車で吸い上げる作業中、通常よりローリー車が離れて駐車した為、ホースが地面に着かなかったので廃液タンク横の給水タンクの架台の上にホースを乗せて吸い上げようとして、給水タンクの架台の上によじ登り、ホースをセットした時、足が滑り架台から地面に落下してしまった。その際、頭部他数か所を打撲骨折したものである。	49	11209	30～ 49
9	17～ 18	2F倉庫トラックバス付近において、パレットに積まれている商品にバーコードシールを貼る作業を実施していた。シールを貼りながら左方向に動いた際に、トラックバスの段差に気づかず、左足を踏み外し、トラックバス下に転落し、左肘を強打した。	51	50101	100 ～ 299
		校内の夜間見回り中、クラブハウス2階一室のドアノブ破損により、内部			

9	21～ 22	に閉じ込められ、窓より脱出を試みるもバランスをくずし落下し骨折した。	72	120109	1～9
9	10～ 11	検針現場に到着し、門扉から約10m先の玄関右横の木戸の中にあるメーターに向かうが木戸が施錠されていたため引き返す、その際、お客様敷地内のマンホール（直径30cm）に気付かず左足で踏んだところ、蓋が外れて左脚が膝まで穴にはまり、その際に左膝下を穴のふちで打った。そのまま検針を続け通常通り検針を終了し帰宅したが、徐々に痛みが出て腫れてきた。	46	170209	100 ～ 299
9	10～ 11	窓サッシ枠を2階に納品作業中、立て掛けようとした時誤って足を滑らし、2階吹き抜けから転落、背中を強打したものである。	56	80102	50～ 99
9	11～ 12	工場に於いて、定時検針を行うためMHPへ行き、検針しようとしたところ、足を踏み外し60cm下の地面に滑り落ち左足首をひねり負傷したものである。	61	150101	100 ～ 299
9	11～ 12	造船構内ブラスト工場内で、製作中のブロックの手すり足場を解体中、足をすべらし高さ約2.5mの所から落下し、両足かかとを骨折した。	57	11501	1～9
9	17～ 18	ディーラーにて車両引き取りの際、後部のナンバーステイが高所にあったため、取り付けのため脚立を借りようと工場へ入った際に、足を滑らせピットへ落下し左わき腹を打ったものである。	73	40301	10～ 29
9	11～ 12	駐車場において、駐車場の開放のためロープと重りを脇に寄せようとしたところ、溝があり、跨ごうとして誤って右足が落ち、右足に全体重をかけた状態になり負傷した。	41	140201	30～ 49
9	13～ 14	中学校パソコン室横の緩やかな傾斜地の草抜きをしていた際、誤って1mほど下にある溝に落ち、右手首をひねり、左足を強打した。	69	170101	300 ～ 499
9	13～ 14	パソコン室横の緩やかな傾斜地の草抜きをしていた際、誤って1mほど下にある溝に落ち、右手首をひねり、左足を強打した。	69	120109	1～9
		新築工事にて建前当日、柱を大桁に掛けにくかった為、ホゾに入れよう			

9	9~ 10	と高さ約2m85cmの大ヌキに上がって木材を寄せていたところ手が滑り下に落下。両足を強打し痛みが強く、自力では立てなかった。	54	30202	10~ 29
9	20~ 21	夜間配達応援時、配達先にバイクを止め、そこから徒歩で在宅を確認しに行く途中、周囲が暗かったため、側溝（深さ約130cm）の終端と誤ってたところが、まだ側溝であったため、足から転落、その際、体の右側を側溝で強打及び頭部・右頬を積み上げているブロックにぶつけ頬を50cm切るとともに両足脛を打撲した。	33	110101	500 ~ 999
9	13~ 14	検収口でスズメ蜂とアシナガ蜂の駆除作業を従業員と二人でしていたところ、陳列台の上から蜂に目掛けて殺虫剤を噴霧していたところ、そのうちの一匹（スズメ蜂）が襲って来た為、1台目の台から2台目の台へ後ろ向きに移動した為にバランスが崩れ、背面のまま約2.5m先へ体を左側へ捻りながら着地した為に、全体重が左足踵に掛かり負傷したものである。	58	80209	10~ 29
9	14~ 15	厨房の外の掃除を柄の短いブラシを使って前かがみでおこなっていたところ、足がすべって頭から転落した、深さが約1mあり底には水がたまっていたため、息が出来ず意識不明となった、掃除は1人でおこなっていたが、通りかかった同僚に発見され救助された。	69	130201	10~ 29
9	15~ 16	牛舎にて、安全靴を着用し、鋼管の柵（約50cm）の上り、壁に掛けられたチェック項目表を取り替える作業中、足を滑らせ転倒し、地面で左肘を強打したため、骨折し負傷した。負傷日当日は痛みが少なかったため、我慢し就業していたが、帰宅後から翌日にかけて痛みが増したため受診するに至った。	57	170101	100 ~ 299
10	14~ 15	建屋貫通部調査のため、トレンチ内（暗所）を移動中に、被災者が対処の貫通部に近づこうとしたところ、開口部に気付かずピット内へ落下した。	42	11109	30~ 49
		営業所内の整備工場のピット上に、車両を止め、点検を行っていた。被災時は18時頃であり、既に周囲は暗かった為、照明は点灯していた。作			

10	18～ 19	業が終わったので被災者は帰ろうとして照明を消したが、最後にタイヤの空気圧を確認しようと思い立ち、まず右後方のタイヤを押し、次に左後方のタイヤを押しそうとした際に、ピット上で作業していたことを失念し、深さ1.3m程のピット内に転落し、膝を強打した。	47	40301	10～ 29
10	9～ 10	アスファルトの上に仮設パイプ小屋造りをしていた。当日朝雨風が強かったので、足場板の上からチェーンを掛けていた。掛け終わってから下りる時、手足を滑らせ落下した。	71	30209	1～9
10	9～ 10	看的表示板（約100kg）を取り付けする為、開口部の確認を行い3名で小運搬、開口部に表示盤を設置しクサビにより仮固定を行う。看的所内に2名、外に1名配置し、微調整を行っている際、クサビがゆるみ外側に回転しながら落下。外で作業していた被災者が、左肩、背中、頸部、腰部挫傷してしまった。	49	30202	10～ 29
10	11～ 12	プラットホームにおいて、フレコンにひもをかける業務をしていた際に足を踏み外し、約1.3m下の地面に落下し、腰部を打撲する。	53	40301	50～ 99
10	9～ 10	駐車場において、製粉（30kg）を配送中、段差で左足を踏み外し、捻挫受傷した。	35	10109	30～ 49
10	13～ 14	キャディ業務中、18番グリーンからクラブハウスに戻る途中、側溝に足を踏み入れ転倒し、右足を負傷した。	53	140301	30～ 49
10	10～ 11	建物の窓拭きの作業中、5階の屋上から2階部分の屋上に降りる際に、単独でのロープ作業の途中、カラビナの接続が完全にはまっていなかったのか、外れてしまい下に落ち、あごと胸を打った。	28	150101	1～9
10	16～ 17	豚舎糞尿ピット0パイプ掃除中に豚舎屋外ピット（幅1m、高さ1.2m、長さ60m、コンクリート製）を飛び越えようとした時、誤って転落し、ピット線に左骨盤部を強打し骨折したもの。	35	70101	1～9
10	9～ 10	トラックに商品を積み込む作業を終え、接車バースの自動シャッターを降ろし、自分が接車バースから降りようとした際に、足を踏み外し落下。その際、右側から落下した為、右肘を強打する。	50	40301	500 ～ 999

10	8～9	2世帯住宅の2階浴室改修において、システムバス組立作業中、直下の1階浴室荷重をかけ、1階浴室天井が崩落、同等に左第10、11肋骨を折った。	46	30309	10～ 29
10	15～ 16	消防設備点検物件の駐車場にて強風の中間検資料が飛ばされ、隣の敷地に落ちたので取ろうとブロック塀に乗ろうとしたところ、上部のブロックごと崩れて隣の敷地3m下に落下した。	50	170209	30～ 49
10	12～ 13	付近の新築アパートに営業のためチラシを配ろうと向かった際、歩こうとしたマンホールが傾いているのに気が付かず、バランスを崩し側溝に右足が落ち、足も首を強く捻ってしまった。	55	80209	50～ 99
10	9～ 10	都旗・国旗の掲揚作業のため、2階南口植え込み内に設置されている掲揚ポールに行き、高さ約65cmの植え込み囲壁の上部に乗り、都旗を掲揚後、国旗を掲揚しようと横に移動している時に雨で足元が滑り、落下転倒した。	59	150101	10～ 29
10	14～ 15	電気工事で、屋外の電気工事引込ポール（鉄製高さ5m地下1m）の高さ1.8mに、はしごをかけて作業していた。ポールが古く根元が腐食しておりポールが根元から折れて倒れはじめたため、はしご6段目から飛び降りたところコンクリート地面に右足かかとを打った。安全靴は着用していた。	28	30301	10～ 29
10	15～ 16	解体工事を請け負い、2階のベランダからダンプに積み荷を紐で吊るし下ろしている際、紐が体に絡まり、高さ2メートルから落下。落下した際、腰を強打してしまい、その反動で上半身、首を捻ってしまい負傷。	63	30201	1～9
10	9～ 10	ハンマーにて水抜き管の詰まりを解除後、コンクリート擁壁上を伝って点検座まで移動中、擁壁上に堆積していたスラッジで足を滑らせ4m下の地面に転落し被災した。	53	10901	1～9
10	13～ 14	事業所内テント倉庫にて材料確認のため高さ120cmの棚に上がっていたところ、足が滑りコンクリート床下に転倒した。	27	10805	50～ 99
		造成工事現場の擁壁底盤の段差（約1m）がある場所で、擁壁立上り打設			

10	17～ 18	の準備と確認作業をしていたところ、型枠ジク材を上段にいた作業員に手渡しするために、上段底盤へ登った際、バランスを崩してそのまま後ろ向きに上段から下段へ着地した時、左足踵骨を骨折した。	36	30209	1～9
10	14～ 15	整備作業場で、空ダンボールを縛ろうとしゃがみこんだところ、長ぐつを履いていたためふらつき、すぐ横の地下ピットへ落ちて頭部を打った。	80	80204	10～ 29
10	17～ 18	当日、被災者は1-6反応消泡水管のリークテストを実施していた。移動式足場を使用し実施していたが、届かない場所で漏れを確認したため、隔壁（高さ約5.4m）上部に乗り移り、作業中に配管ユニオンに掛けたパイプレンチが滑り、その勢いで墜落した。	39	30110	10～ 29
10	15～ 16	工場内ごみ置き場にて、回収したごみをごみ置き場に持ち込む際、両手にごみ袋を持っていたため足元が見えず、ごみ置き場手前の側溝に左足を踏み外し、左足の甲をコンクリートの側溝で強打した。	67	150101	100 ～ 299
10	12～ 13	駐車場の外壁が前日の強風でこわれていたのを修理するため、外壁の外側へまわり修理した。（トタン後部分）その際、外壁をのぼり外側へ。修理後駐車場内へもどる時に外壁をのぼり着地したところ、被災した。	51	90103	300 ～ 499
10	17～ 18	荷物の積込中、工場内にて接車中トラックとプラットホームの間に1.5m転落して腰部と右足関節を捻挫した。すぐに救急車にて搬送された。	49	40301	10～ 29
10	16～ 17	工場新館1階の庫内で荷物にシールを貼る作業中、パレットの鉄枠によじ登ったところ、足を踏み外して落下し、左足踵を負傷した。	21	80401	30～ 49
10	20～ 21	商品を出庫する場所でカートの並びかえを行おうとしているときに、通常ルートではなく立入禁止スペースルートを通じた上で並びかえを行おうとした。その際、パレットを横切ろうとしたが、十分な通過スペースがなく落下した。落下した際に右足踵を骨折した。	41	170101	50～ 99
10	19～ 20	ホーム上にて作業が終わってトラックへ戻る際に小走りに戻り、ホームの手前50cm位の所ですまずいてホーム下へ転落。転落する際に顔を守るため右手を付いたため負傷。	47	40301	1～9

10	10～ 11	解体工事作業中、足場から玄関入口上の箇所の柱（地上約3m位）に足をかけたところ、柱がくさっていたため折れて地上に転落、はずみで鎖骨を骨折した。	47	30209	1～9
10	14～ 15	(P) の掃除をするため、ブロックに上がり溶接工の道具箱を跨ぐ時、ブロック端部のBKTに足が引っ掛かりバランスを崩し、約1.5m下の定盤転落した。	49	11501	1～9
10	9～ 10	碎石場の資材置場を重機を使用し墾地、転圧して高さ7.5mの高台で拡張作業をしていたところ、足元のコンクリートブロック（長さ1.5m、幅0.7m、高さ0.9m、重さ2?）が突然崩れ、土砂やブロックに巻き込まれた。	61	30109	1～9
10	9～ 10	碎石場の資材置場を重機を使用し墾地転圧して高さ7.5mの高台で拡張作業をしていたところ、足元のコンクリートブロック（長さ1.5m、幅0.7m、高さ0.9m、重さ2?）が突然崩れ、土砂やブロックに巻き込まれた。	49	30109	1～9
10	14～ 15	工場において、屋外の梁の塗装作業中、塗装を終えた梁（300×600）の上に乗る、次の梁を横に倒していたとき、バランスを崩して梁の上で転倒し、頭を打ちアスファルト路面（高さ90cm）に転落負傷した。	61	11209	1～9
10	15～ 16	高さ1.5mの壁に上がり両手に洗浄ブラシとホースを持った状態で洗浄作業中に、持っていたホースが引っ掛かり、壁上でバランスを崩して転落し、負傷した。	41	150101	30～ 49
10	13～ 14	被災者は、F定盤のS-ZダンクブロックGS-8F（P）の足場仮設中に、搭載後に使用する梯子を、ブロック端部に立て掛け、ブロック上部に引き込むために、ブロックをよじ登っていた時にブロックの傾斜で足を滑らし、高さ約1.5m下に墜落し、右足踵を負傷した。	41	11501	1～9
10	16～ 17	ホテル1階職員用室内加湿器を運搬中に床の地下点検口の蓋が開いている事に気付かず、点検口から落下（2m程度）した。	20	150101	100 ～ 299

10	15～ 16	休憩中、土羽の上に板4枚重ねた上に座りお茶を飲んだ時、後ろ向きに転げ落ちた。第3腰椎を骨折した。	56	30106	1～9
10	13～ 14	ビル解体工事現場に於いて、6階部分の解体途中のスラブ上で、周りの足場（養生シートと単管）を取り外し、エレベータービットの周りに集積させていた足場材（単管）を片付けようとして、足場材を持ち上げた際に足元が不安定だったこともあり、誤ってエレベータービット内に転落した。6階から2階へ転落して負傷。	44	30209	1～9
10	8～9	ハトが当社事務所の天井裏にまよい込みハトを捕獲後、天井裏から出ようとしたところつかまっていた窓わくから手が滑って天井をつきぬけて、約2.5m下の床に落ちて左ヒザ骨折した、脊椎2ヶ所にヒビが入った。	40	80109	30～ 49
10	11～ 12	縦型発酵槽脱臭ライン排管確認後、脱臭槽（約1.8m）から降りる際、足が滑り転落。右腕を骨折した。	39	150102	50～ 99
10	23～ 24	勤務終了後に退社する際、営業所敷地内の整備棟内に駐輪していた自家用バイクのところまで行こうとしたが、整備棟が消灯されていたためピットに気付かず足を踏み外しピットに降りる階段の所に転倒（落下）し、階段でわき腹を強打した。※普段は、バイクは所定の駐輪場所に駐輪していたが、その日昼間整備棟内でバイクの調子を見てそのままそこに置いていた。（整備棟内は駐輪場ではない）※整備業務および夜間の清掃業務も終了しており整備棟内は消灯されていた。	43	40202	50～ 99
10	12～ 13	当社借地の畑に於いて、午前の作業終了後、畑に隣接している道路に社用車があり、そこに弁当を取りに行こうと5m幅の乗入口から車へ移動する際、足元を見てなかったため、乗入口横の幅50cm深さ1mの側溝に落ち、左脇腹と左膝を打ち負傷したもの。	28	60101	10～ 29
11	14～ 15	住宅基礎枠解体作業中、先に基礎コンクリート暖房用の養生テント撤去中、雪・氷等が少々あって、型枠の上で滑り1.3m下に顔からつんのめって、転落し、前頭部の額を5～6cm縦に裂傷した。	63	30202	1～9
		停電し、電柱上部にある碍子を外す作業を行う為、昇柱している途中			

11	14～ 15	で、高さ7～8m位の高さに達して、作業を開始しようとした時、道路の法面に落下し腰を痛めた。安全帯は装着していたが、落下した際に外れたようである。	47	30301	10～ 29
11	8～9	支社の倉庫プラットフォーム上で、プラットフォームに後ろ向きで駐車した車両に交換用冬タイヤを積み込むために、車両後部ハッチバックを開けようとした際に、よろけて、高さ約40cmのプラットフォームから地面アスファルトに落下し、着地する際に足首を強く捻ってしまった。	30	170201	100 ～ 299
11	18～ 19	納品専用台車を回収積み込み後、車両後部シャッターの紐を引いて閉めようとした時、引っ掛かった感じがしたので、強く引いた時に紐が切れゲートから転落し右足踵を負傷した。	45	80209	30～ 49
11	12～ 13	貨物を検品のため、3mの高所から転落した。	67	80401	50～ 99
11	12～ 13	交差点で赤信号で停止しているところを裏から追突された。	45	30203	1～9
11	11～ 12	焼却施設のメンテナンス（排気風洞内部の清掃作業）作業を行おうとして風洞入口から後ろ向きの状態で足から進入したが、風洞内部の入口左手にある足場が分からず、そのまま落下し背中を打ち背骨を骨折した。このメンテナンス作業は、新規入場者を伴う場合は、2人組で行うものだったが、風洞内部の構造や作業手順について安全衛生教育が完了する前に、労働者の勘違いから作業を単独で開始していた。	44	150102	10～ 29
11	16～ 17	建設現場で、警備業務に当たっていた際に、仮設トイレに行き排尿を済ませ、仮設トイレを出たところで、誤って足元をとられ、高さ1.9m下の駐車場に転落し、上半身を強く打ってしまう。当日現場は、作業の都合上仮フェンスが外れている状態であった。	72	170201	10～ 29
11	15～ 16	荷物の配達準備中、発着場で配達用車両に荷物を積み込む際に、段差から足を踏み外して落下し骨折した。	61	110101	300 ～ 499

11	14～ 15	コンバインの洗車作業時、泥処理のため、沈殿槽の幅を広く開けていたので開口部となってしまう、誤って右足を落としてしまったため右足の脛を負傷してしまった。	35	11702	1～9
11	8～9	自社の木くず中間（破碎）処理場において、木くず保管のピットの周囲を清掃中、（分別した木くずを構内運搬し、保管のピットに投入後、ピットの周囲に引っ掛かって、入らなかった木くずをピットに入れる作業中）バランスを崩し、ピットに落ち、着地時に右手をつき右手首を負傷した。	56	10409	30～ 49
11	8～9	コンクリート打設作業中に次の場所へ移動しようとして地中梁配筋の上を歩いていたら、バランスを崩して約1800mm下の捨てコンクリート上に飛び降りて、右足踵を骨折した。	59	30201	30～ 49
11	11～ 12	駅舎においてロープウェー搬器の走行部点検・給油中、安全带（2丁掛け）を使用し、5つ目の走行輪に移動し、当該箇所に給油しようとし安全带を掛けかえようとしたところ、足元が滑り、3.1m下の搬器天部に墜落し、その反動で搬器天部から4.6m下の地面に転落し、右全身を強打し、負傷した。	46	40101	10～ 29
11	11～ 12	ゴミ分別作業終了後、待機場所へ戻る際、洗浄線通路を歩行中、よろけてバランスを崩し洗浄線に転落した。	61	150109	10～ 29
11	15～ 16	営業所構内においてトラックをホームへ接車した後、階段を上り、トラックの方に歩いていたところ、右足を踏み外しホーム下へ落下し右腕を骨折したものである。（1m弱）	45	40301	50～ 99
11	15～ 16	建設工事現場にて、建物の玄関上の庇のケレンをしようと2階の窓越しに庇の上に降りようとして、途中に突起している約1200mm下のボーダーに足をかけ、その下の庇まで約600mmを降りようとした際、足を踏み外して、庇の正面越しに落下し、負傷した。	23	30201	10～ 29
11	15～ 16	個人宅の裏のガレージ（3m位）の上の物干し場で柿の木の剪定作業をしていた。ガレージの上でバランスを崩し下に落ちた。	68	60101	1～9

11	15～ 16	入店先でDMを所定の位置に戻す際、カウンター横の地下室、約2.3mに転落し、右首筋から後ろ、右肘、腰、左足肘を打撲した。	53	80109	300 ～ 499
11	12～ 13	鉄骨2階建解体工事中、屋上スラブに乗った瞬間にスラブが崩落し、落下、肋骨を骨折した。	69	30201	1～9
11	12～ 13	鉄骨2階建解体工事中、屋上スラブに乗った瞬間にスラブが崩落し、落下、左肘を骨折した。	59	30201	1～9
11	17～ 18	就業が終わりタイムカード打刻後、会社敷地内の駐車場に向かって歩いていたところ、足元の側溝に気付くのが遅れ足を踏み外し、溝に落ちた弾みでバランスを崩した際に横にあったガードレールに顔面を打ちつけ転倒し全身を負傷した。	68	170209	100 ～ 299
11	14～ 15	当社倉庫内にて、倉庫の整理中、約2.5m上に置いてあったワイヤーや三角パイロンなどを整理した後、梯子で下に下りようとした際、バランスを崩した為地面に飛び降りる形で着地をしてしまい、右足かかとを負傷した。	21	170209	1～9
11	15～ 16	3人で高床式倉庫の高床の木材を敷き均す作業中に1人が転倒しそうになり、掴んだ木材が倒れて来て、顔面に当たり、顔面からの出血と顔面骨折をした。	69	30202	1～9
11	9～ 10	自家消費用牧草ロールを足場にして、屋根の骨組みを建築中に、どうしても下に降りなければならなくなり、降りようとして、後ろ向きにバランスを崩して落下した。（牧草ロール2段目（約2.5m位））	51	60101	1～9
11	18～ 19	宅配便の配達にて、お客様宅にお伺いした際ご不在で不在連絡票を投函する為にポストを探し家の裏側に回ろうとしたところ、道が無く、高さ5mの位置より下の川に落下し、腰、背中を損傷した。事故発生時間帯は薄暗い状況であり、周囲、足元の確認を怠ったことが原因である。	33	40301	30～ 49
	23～	被災者は飲食店の厨房で換気扇の清掃作業を行っていた。作業を行うため脚立から足場となる調理台（高さ約80cm）に移動する際、調理台の端			

11	24	から足を滑らせ落下し、調理台で右肩・右胸を強打した。作業時、調理台をビニールで覆っており、洗浄用の洗剤や油がビニールに付着していたため、足元が滑り易くなっていた。	40	140201	1～9
11	11～12	汚水処理施設において、No.1沈殿槽のふちを伝い側溝の清掃を動噴を使って行っていた際にバランスを崩し足を踏み外して、約3.2m下のセメント面へ落下し右上腕・腰部を強打した。	33	10101	300～499
12	11～12	当社内の拭き取りスペースにおいて、お客様の車両を洗車後の拭き取り作業中に、社屋2階の窓枠から落下したと思われる氷のような塊が頭部に当たり負傷した。	47	130201	10～29
12	15～16	工場内にて、年末年始休暇前の大掃除で、窓拭きを上に登り行き、終了後、下に降りようとした際に窓の前にある棒に足が引っかかり、そのままお尻から落下し、腰を圧迫骨折した。	49	170101	500～999
12	15～16	工場内にて、年末年始休暇前の大掃除で、窓拭きを上に登り行き、終了後、下に降りようとした際に窓の前にある棒に足が引っかかり、そのままお尻から落下し、腰を圧迫骨折した。	49	10805	100～299
12	8～9	ゴルフクラブ男子浴室内で、水を抜いて浴槽内を清掃中、浴槽上り台に足を掛け、浴槽外に出ようとした所、足を滑らせて後ろ向きに倒れ、左腰を強打した。当日にレントゲンを撮るが異常は見つからず、痛みが引かない為、後日に再び病院に行きMRIを撮ったところ、骨折と判明した。	67	170209	10～29
12	14～15	自社倉庫で、中二階にある作業ロープを片付け中、誤って養生部分を踏み抜いて転落し（1.5m位）、一階床に置いてある電線ドラムの上に腰を打ち、腰を負傷した（ヘルメットあり）。	59	30301	1～9
12	8～9	第1ペアリフト山頂にて、営業前の試運転中に山頂降り場の雪付作業を行っていたところ、試運転中の下り線側搬器に接触して、約2m下の転落防止ネット上に落下して負傷した。	60	140309	100～299
12	11～12	ホテルの浴室清掃作業中、天井のカビ取りをしていたところ、バランスを崩し、浴室の段差から後ろ向きで転落し、全身を強打し負傷した。	74	150101	300～

					499
12	10~11	清掃中、誤って足を踏み外し、段差1.2mの予備室へ落ちた。腰から落ち、左大腿骨を骨折した。	56	10109	30~ 49
12	10~11	天井開口窓に梯子を掛け、天井裏に設置の給排気設備の点検を実施した。点検終了後、梯子に足を掛け降りようとした時、開口窓がボードと枠ごと破損し、作業者が梯子もろ共、約3m下の床に落下した。	39	11303	50~ 99
12	14~15	荷物を運ぶ途中に、浄化槽のマンホールの蓋を踏んだときに、蓋がずれて浄化槽に落ち、右足の太ももを骨折した。	60	40201	30~ 49
12	8~9	本社駐車場にて、運行前のトラックおよび設備の日常点検を行っていた。荷台の設置点検が終わったので降りようと、いつもの様に高さ1m程の荷台から飛び降りたところ、着地の際に腰に衝撃がはしり負傷した。	43	40301	30~ 49
12	22~23	冷蔵倉庫コンテナ降しホームにて、大型車に保管していたコンテナをホームに降ろす作業を行い、完了後に車両を移動しようとした際（推測）、高さ1mのホーム下へ転落し、救急搬送された。	55	40301	100 ~ 299
12	13~14	被災者は、トレーラダンプのオイル交換のため、ピットにて作業をしていた。ピット上の金網を移動させようと持ち上げて移動したところ、足を踏み外して背中から転落し、その際に背中をピットの角で打ち、打撲を負った。	51	30309	300 ~ 499
12	16~17	自社事業所の改築工事現場で就労していた労働者が、ガレージスレート屋根撤去中、母屋に打ってある釘を抜いていたところ、母屋が腐っていて折れ、スレートと一緒に転落し、右肋骨を骨折した。	65	30209	1~9
12	16~17	倉庫にて、出荷パレットが置かれた状態で高床式（高さ1m）の接車バーから足を踏み外し、ホーム下に右足から落下し、右膝の関節2本を骨折した。	53	80401	10~ 29
12	14~15	年末の大掃除で窓拭きをしていた際、2Fに行く階段の踊り場の高さ1mにある窓を拭こうと、踏み台を使って窓の15cm幅の棧に両足を置いた。左手で窓枠をつかみ、右手で窓を拭きながら横に移動しようとしたとこ	46	140201	1~9

		ろ、足を滑らせ身体のバランスを崩し、踊り場に左足から着地し、負傷した。			
12	16~17	当社車庫において、年末最後の車庫および近辺の大掃除に従業員全員で行っていた。隣接する道路脇でトラック走行の邪魔になっていた木の枝を切ろうとして、2人で1.5m程の高さがあるコンクリートの石垣に上がった。枝の端をつかもう少し跳んだところ、誤って下に落ち、左足を負傷した。	31	40301	1~9
12	17~18	勤務終了後、駐車場に停めてある車（勤務先の敷地内）へ向う途中に車が発進し、それを避けるために壁側へ移動したところ、側溝で左足を踏み外して負傷した（車との接触はない）。	49	140309	300 ~ 499
12	11~12	業務中、客先事務所から出る際に、事務所建物2階から1階へ階段を下りているときに、あと5段程度の所から転落し、右足を骨折した。持病で左足に不自由があるため、平素より松葉杖を使用して歩行していた。松葉杖が階段でつかえ、前のめりになり、バランスを崩して転落した。	46	30201	30~ 49
12	11~12	倉庫外部の片付け中、4m上の石垣の草を取っているとき、道具を受け渡したあとにバランスを崩し、転落した。その際、落下防止の命綱をつけていなかった。	44	30202	1~9
12	7~8	2F仕上場に設置してある、周囲に手すりと落下防止柵を両立している計量機の始業前点検中、高さ1.5mの架台に上り日常点検をしていた際、バランスを崩してしまい床面に落ち、左肩を強打した。	58	10102	50~ 99
12	13~14	大豆を浸漬する工程で、洗穀機の大豆を製品タンクへ移すためホースを引っ張っているとき、バランスを崩して40cm位下の通路へ足を踏み外し、右足を負傷した。	58	10109	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html